



ギャラクシー・エンターテインメント・グループ

2019年第3四半期監査前主要財務データを発表

第3四半期のグループの調整後 EBITDA は 41 億香港ドル

前年同期比 6%増、前期比では 5%減

マスは堅調、VIP は低迷

ノンゲーミング部門のレベニューは過去最高記録に迫る数字を達成

開発事業、ギャラクシー・マカオ第3および第4フェーズ、

日本の開発計画を通して成長を持続

発表済み 1 株あたり 0.46 香港ドルの特別配当を実施

【2019年11月7日、東京発】 - ギャラクシー・エンターテインメント・グループ（略称：GEG、香港証券取引所証券コード：27）は、本日、2019年9月30日までの3か月間の監査前主要財務データを発表いたしました。（金額は特に明記がない限りすべて香港ドル建て）

2019年第3四半期業績のハイライト

GEG：マスは堅調、VIP は低迷、ノンゲーミング部門のレベニューは過去最高記録に迫る数字を達成

- 第3四半期のグループの純売上高は 127 億香港ドル（前年同期比 2%減、前四半期比 4%減）
- 第3四半期のグループの調整後 EBITDA は 41 億香港ドル（前年同期比 6%増、前四半期比 5%減）
- プラス要因により第3四半期の調整後 EBITA は約 1 億 8,400 万香港ドルの増加、平準化調整後 EBITA は 39 億香港ドル（前年同期比 7%減、前四半期比 1%減）
- 直近 12 か月間の調整後 EBITDA は 168 億香港ドル（前年同期比 1%増、前四半期比 1%増）

ギャラクシー・マカオ：マスは堅調、施設の拡張計画が進行中

- 第3四半期の純売上高は 93 億香港ドル（前年同期比横ばい、前四半期比 2%減）
- 第3四半期の調整後 EBITDA は 32 億香港ドル（前年同期比 7%増、前四半期比 2%減）
- プラス要因により第3四半期の調整後 EBITDA は約 1 億 7,100 万香港ドル増加、平準化調整後 EBITDA は 30 億香港ドル（前年同期比 9%減、前四半期比 1%増）
- 第3四半期の5つのホテルを合わせた客室稼働率は事実上 100%

スターワールド・マカオ：マスは堅調、施設の拡張計画が進行中

- 第3四半期の純売上高は 25 億香港ドル（前年同期比 14%減、前四半期比 9%減）
- 第3四半期の調整後 EBITDA は 8 億 2,800 万香港ドル（前年同期比 11%減、前四半期比 12%減）
- プラス要因により第3四半期の調整後 EBITDA は約 1,500 万香港ドル増加、平準化調整後 EBITDA は 8 億 1,300 万香港ドル（前年同期比 13%減、前四半期比 4%減）
- 第3四半期の5つのホテルを合わせた客室稼働率は事実上 100%

ブロードウェイ・マカオ：独自のファミリー向けリゾート、マカオの中小企業による強力な支援

- 第3四半期の純売上高は 1 億 4,100 万香港ドル（2018年第3四半期は 1 億 4,500 万香港ドル、2019年第2四半期は 1 億 4,700 万香港ドル）
- 第3四半期の調整後 EBITDA は 200 万香港ドル（2018年第3四半期は 900 万香港ドル、2019年第2四半期は 600 万香港ドル）
- プラス要因により第3四半期の調整後 EBITDA は約 200 万香港ドル減少、平準化調整後 EBITDA は 400 万香港ドル（2018年第3四半期は 1,300 万香港ドル、2019年第2四半期は 200 万香港ドル）
- 第3四半期の5つのホテルを合わせた客室稼働率は事実上 100%

バランスシート：健全で流動性のあるバランスシート

- 2019年9月30日時点での現金および流動性のある投資は 492 億香港ドル、ネットキャッシュは 472 億香港ドル
- 2019年9月30日時点での負債は 20 億香港ドル（主に現在の財務収益管理戦略を反映）
- 発表済みの 1 株あたり 0.46 香港ドルの特別配当を 2019年10月25日に実施



開発に関する最新情報：開発機会を引き続き探索中

- すでに発表済みのギャラクシー・マカオおよびスターワールド・マカオに対する 15 億香港ドルの改修増強計画を継続
- MICE 業界関係者に向け、ギャラクシー・インターナショナル・コンベンション・センター（GICC）およびギャラクシー・アリーナを 8 月に正式発表
- コタイ地区ギャラクシー・マカオの第 3 および第 4 フェーズ - ノンゲーミング事業の MICE やエンターテインメント、家族向け施設を中心に、ゲーミングも含めて開発が進行中。また、ハイアットホテルズのアンダーズホテルが、マカオに初進出し、ギャラクシー・リゾートに開業予定。
- 横琴島 - マカオの人気エンターテインメント・リゾートであるギャラクシー・マカオを補完するために、ライフスタイルリゾートの計画を更新中
- 国際事業の展開 - 日本を含む海外市場での機会を引き続き探索

GEG 会長 **レイ・チェ・ウー** 博士は次のように述べています。

「本日、グループの 2019 年第 3 四半期の業績をご報告できることを嬉しく思います。市場の状況やお客様の心理的な変化に照らせば、全体的に見てグループは十分な業績を達成しました。2019 年のマカオは、進行中の貿易摩擦、世界経済の低迷、地域競争、通貨変動、香港の混乱など、さまざまな向かい風に直面しました。これらの出来事が、お客様の心情や消費行動に影響を及ぼしました。

こうした課題があったにもかかわらず、2019 年第 3 四半期のグループ全体で純売上高は、前年同期比わずかに 2%減の 127 億香港ドル、調整後 EBITDA は、前年同期比 6%増の 41 億香港ドルでした。当社のバランスシートは引き続き健全で、トータルキャッシュおよび流動性のある投資は、492 億香港ドル、ネットキャッシュは、472 億香港ドルとなっています。バランスシートと事業運営が生み出すキャッシュフローが健全であるため、配当による株主への資本の還元に加えて開発パイプラインへの資金投入と国際的な事業展開計画の推進を可能にしています。2019 年 10 月 25 日、1 株あたり 0.46 香港ドルの特別配当を実施しました。これらの配当は、マカオおよび当社の長期的な展望に自信があることを証明するものです。

当社は、15 億香港ドルを投じて、ギャラクシー・マカオおよびスターワールド・マカオの施設拡張計画を進めています。今後も計画を予定および予算通りに進めていきます。2つの VIP ルームのリノベーションが完了し、お客様から好意的な反応を頂いていることを嬉しく思います。リゾートの拡張計画を継続し、2020 年中旬までに全体の完成を目指しています。

さらに、ギャラクシー・マカオの第 3 および第 4 フェーズの建設および横琴島でのライフスタイルリゾート開発計画を進めています。日本市場への進出については、日本開発チームのさらなる強化およびリソースの確立を行い、統合型リゾートの選考プロセスに向けて準備を行っています。

2019 年 8 月、MICE 業界関係者に向け、近年中にオープン予定の MICE 施設、ギャラクシー・インターナショナル・コンベンション・センター（GICC）とギャラクシー・アリーナを正式に発表いたしました。GICC は、総面積 40 万平方フィート（約 37,000 平方メートル）の MICE 施設と総面積 50 万平方フィート（46,000 平方メートル）、1 万 6,000 人収容できるギャラクシー・アリーナなど世界的なイベント会場に適しています。柱のない 10 万平方フィート（9,300 平方メートル）に広がる展示ホールは、講演・研修用に 7,000 人、バンケット用に 2,400 人を収容することができます。さらに 650 の座席を有す



るオーデトリウムも備えています。また、第3フェーズでは、マカオにとって初となる、ハイアットホテルズのアンダーズホテルが700の最高級の客室とファミリー向けの客室を提供します。

当社は、特に中国本土からの観光や、レジャーおよび旅行の需要が伸び続けていることから、マカオ全般およびGEGの中長期的展望には依然として自信を持っております。また、マカオがグレーターベイエリアにあることは、マカオの発展にとってプラスになると確信しています。当社は、観光やレジャーの国際的な中心地になるというマカオ政府の構想への支援に注力していく所存です。

最後になりますが、『世界レベルで、アジアのおもてなしを』というサービス哲学のもと、グループの成功に貢献している、当社のスタッフ全員に感謝の意を表したいと思っております。」

マカオ市場の概況

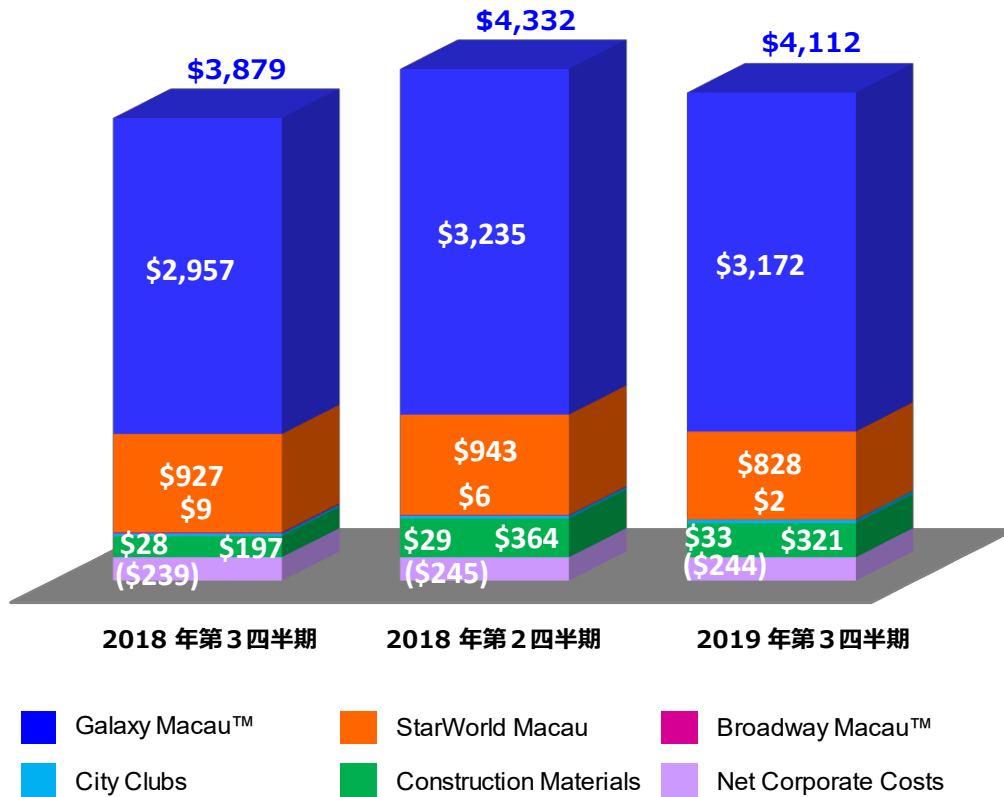
2019年第3四半期、マカオへの訪問者数は、前年同期比10%増の990万人でした。中国本土からの訪問者数は、前年同期比10%増の710万人でした。香港を含むグレーターベイエリアの都市からの訪問者数は、25%増の490万人でした。広東省外からの訪問者数は、中国本土からの訪問者数全体の53%を占めています

GEG 決算の状況

2019年第3四半期のグループの純売上高は127億香港ドル（前年同期比2%減、前四半期比4%減）で、調整後EBITDAは、41億香港ドル（前年同期比6%増、前四半期比5%減）となりました。ギャラクシー・マカオの調整後EBITDAは、32億香港ドル（前年同期比7%増、前四半期比2%減）となりました。スターワールド・マカオの調整後EBITDAは、8億2,800万香港ドル（前年同期比11%減、前四半期比12%減）となりました。ブロードウェイ・マカオの調整後EBITDAは、200万香港ドル（2018年第3四半期は900万香港ドル、2019年第2四半期は600万香港ドル）でした。

2019年第3四半期のGEGの調整後EBITDAは、プラス要因により約1億8,400万香港ドル増加しました。平準化調整後EBITDAは、39億香港ドル（前年同期比7%減、前四半期比1%減）となりました。

GEGの調整後EBITDA(単位100万香港ドル)



グループ全体のグロスゲーミングレベニューは、2019年第3四半期の管理会計ベース⁶で143億香港ドル（前年同期比10%減、前四半期比6%減）でした。マステーブルのグロスゲーミングレベニューは、73億香港ドル（前年同期比11%増、前四半期比1%増）でした。VIPのグロスゲームレベニューは、64億香港ドル（前年同期比26%減、前四半期比13%減）でした。電子ゲームのグロスゲーミングレベニューは、6億4100万香港ドル（前年同期比3%増、前四半期比6%増）でした。

⁶法定総収益と管理ベース基本総収益の主な違いは、シティ・クラブの収益の取扱いであり、手数料収入は法定ベースで報告され、ゲームの総収益は管理ベースで報告されます。グループのレベルでは、ゲーミングの実績には、企業所有のリゾートとシティ・クラブが含まれています。



グループの主な財務データ

(単位：100万香港ドル)

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
売上高:			
ネットゲーミング	11,068	11,143	10,603
ノンゲーミング	1,358	1,315	1,407
建設資材	569	716	700
全純売上高	12,995	13,174	12,710
調整後 EBITDA	3,879	4,332	4,112

ゲーミングの実績⁷

(単位：100万香港ドル)

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
ローリングチップ売上高 ⁸	264,491	179,666	163,779
ウインレート%	3.3%	4.1%	3.9%
勝ち金	8,604	7,325	6,369
マステーブルドロップ ⁴	29,923	30,391	30,424
ウインレート%	22.1%	23.9%	24.1%
勝ち金	6,609	7,266	7,319
電子ゲーミング売上	18,202	16,647	17,133
ウインレート%	3.4%	3.6%	3.7%
勝ち金	621	607	641
全 GGR 勝ち金 ⁵	15,834	15,198	14,329

バランスシートと特別配当

2019年9月30日の時点で、現金および流動性のある投資が492億香港ドル、ネットキャッシュは472億香港ドルです。負債総額は20億香港ドルとなりました。これは、主に継続的な資金管理によるもので、現金資産への利息収入は借入コストを上回っています。2019年10月25日には、発表済の1株あたり0.46香港ドルの特別配当を実施しました。GEGのバランスシートと事業運営が生み出すキャッシュフローが、特別配当による株主への還元に加えてマカオの開発パイプラインと国際的な事業展開計画への資金投入を可能にしています。

⁷ ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

⁸ ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

⁴ マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。

⁵ シティ・クラブのゲーミング売上を含みます。



ギャラクシー・マカオ

ギャラクシー・マカオはグループの売上高、収益面で中心的な役割を担っています。2019年第3四半期の純売上高は、93億香港ドル（前年同期比横ばい、前四半期比2%減）となりました。調整後 EBITDA は、32億香港ドル（前年同期比7%増、前四半期比2%減）でした。調整後 EBITDA マージンは、香港財務報告基準で34%（2018年第3四半期は32%）となりました。

2019年第3四半期の調整後 EBITDA は、プラス要因により約1億7,100万香港ドル増加しました。平準化調整後 EBITDA は、30億香港ドル（前年同期比9%減、前四半期比1%増）となりました。

2019年第3四半期の5つのホテルを合わせた客室稼働率は事実上100%でした。

ギャラクシー・マカオの主な財務データ

（単位：100万香港ドル）

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
売上高:			
ネットゲーミング	8,181	8,405	8,108
ホテル/飲食/その他	888	832	897
ショッピングモール	268	289	310
全純売上高	9,337	9,526	9,315
調整後 EBITDA	2,957	3,235	3,172
調整後 EBITDA マージン	32%	34%	34%

ゲーミングの実績⁶

（単位：100万香港ドル）

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
ローリングチップ売上高 ⁷	189,607	125,051	110,279
ウインレート%	3.4%	4.4%	4.4%
勝ち金	6,354	5,501	4,805
マステーブルドロップ ⁸	17,650	18,118	18,403
ウインレート%	25.1%	27.6%	27.9%
勝ち金	4,434	4,993	5,129
電子ゲーミング売り上げ	13,026	11,235	11,359
ウインレート%	4.0%	4.6%	4.6%
勝ち金	527	512	523
全 GGR 勝ち金	11,315	11,006	10,457

⁶ ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

⁷ ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

⁸ マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。



スターワールド・マカオ

スターワールド・マカオの2019年第3四半期の純売上高は、25億香港ドル（前年同期比14%減、前四半期比9%減）となりました。調整後EBITDAは、8億2,800万香港ドル（前年同期比11%減、前四半期比12%減）でした。調整後EBITDAマージンは、香港財務報告基準で33%（2018年第3四半期は32%）でした。

2019年第3四半期の調整後EBITDAは、プラス要因により約1,500万香港ドル増加しました。2019年第3四半期の平準化調整後EBITDAは、8億1,300万香港ドル（前年同期比13%減、前四半期比4%減）となりました。

2019年第3四半期のホテル客室稼働率は事実上100%でした。

スターワールド・マカオの主な財務データ

（単位：100万香港ドル）

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
売上高:			
ネットゲーミング	2,794	2,633	2,397
ホテル/飲食/その他	110	110	111
ショッピングモール	12	13	13
全純売上高	2,916	2,756	2,521
調整後 EBITDA	927	943	828
調整後 EBITDA マージン	32%	34%	33%

ゲーミングの実績⁹

（単位：100万香港ドル）

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
ローリングチップ売上高 ¹⁰	73,750	53,905	49,990
ウインレート%	3.0%	3.3%	2.8%
勝ち金	2,191	1,789	1,394
マステーブルドロップ ¹¹	9,062	8,877	8,915
ウインレート%	18.5%	19.5%	19.0%
勝ち金	1,680	1,730	1,694
電子ゲーミング売上	1,945	1,967	2,226
ウインレート%	2.1%	2.0%	2.5%
勝ち金	41	40	55
全 GGR 勝ち金	3,912	3,559	3,143

⁹ ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

¹⁰ ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

¹¹ マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。



ブロードウェイ・マカオ

ブロードウェイ・マカオは、マカオの地元中小企業の支援を受けて運営し、ストリートエンターテインメントと食事を楽しめる、他にはないユニークなファミリー向けリゾート施設であるため、VIP ゲーミングは備えていません。この施設の2019年第3四半期の純売上高は、1億4,100万香港ドル（2018年第3四半期は1億4,500万香港ドル、2019年第2四半期は1億4,700万香港ドル）でした。調整後 EBITDA は、200万香港ドル（2018年第3四半期は900万香港ドル、2019年第2四半期は600万香港ドル）となりました。調整後 EBITDA マージンは、香港財務報告基準で1%（2018年第3四半期は6%）となりました。

2019年第3四半期の調整後 EBITDA は、マイナス要因により約200万香港ドル減少しました。平準化調整後 EBITDA は、400万香港ドル（2018年第3四半期は1,300万香港ドル、2019年第2四半期は200万香港ドル）となりました。

2019年第3四半期のホテル客室稼働率は事実上100%でした。

ブロードウェイ・マカオの主な財務データ

(単位：100万香港ドル)

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
売上高:			
ネットゲーミング	65	76	65
ホテル/飲食/その他	69	59	66
ショッピングモール	11	12	10
全純売上高	145	147	141
調整後 EBITDA	9	6	2
調整後 EBITDA マージン	6%	4%	1%

ゲーミングの実績¹²

(単位：100万香港ドル)

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
マステーブルドロップ ¹³	368	343	329
ウインレート%	16.9%	21.3%	19.2%
勝ち金	62	73	63
電子ゲーミング売り上げ	509	444	454
ウインレート%	2.1%	2.4%	2.3%
勝ち金	11	11	10
全 GGR 勝ち金	73	84	73

¹²ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

¹³ マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。



シティ・クラブ

2019年第3四半期の調整後EBITDAは、3,300万香港ドル（前年同期比18%増、前四半期比14%増）と、グループの業績に貢献しました。

シティ・クラブの主な財務データ

（単位：100万香港ドル）

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
調整後 EBITDA	28	29	33

ゲーミングの実績¹⁴

（単位：100万香港ドル）

	2018年第3四半期	2019年第2四半期	2019年第3四半期
ローリングチップ売上高 ¹⁵	1,134	710	3,510
ウインレート%	5.2%	5.0%	4.9%
勝ち金	59	35	170
マステーブルドロップ ¹⁶	2,843	3,053	2,777
ウインレート%	15.2%	15.4%	15.6%
勝ち金	432	470	433
電子ゲーミング売上	2,722	3,001	3,094
ウインレート%	1.6%	1.5%	1.7%
勝ち金	42	44	53
全 GGR 勝ち金	533	549	656

建設資材部門

建設資材部門の第3四半期の調整後EBITDAは、3億2,100万香港ドル（前年同期比63%増、前四半期比14%減）となりました。

開発に関する最新情報

ギャラクシー・マカオおよびスターワールド・マカオ

当社のリゾートの競争力を維持するため、15億香港ドルを投じてギャラクシー・マカオとスターワールド・マカオの施設拡張計画を進めています。この計画は当社のリゾートの魅力を高めるだけでなく、今後、ギャラクシー・マカオの第3および第4フェーズを効果的に統合および連結するための準備作業も含んでいます。

¹⁴ ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

¹⁵ ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

¹⁶ マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。



ギャラクシー・マカオ-「次の開発段階」へ

GEG は長期的成長の実現に向けて独自のポジションを確立しています。当社は、家族向けや最高級の客室を含む 4,500 室のホテル、40 万平方フィート (37,000 万㎡) の MICE スペース、16,000 人を収容できる 50 万平方フィート (46,000 万㎡) の多目的アリーナ、飲食店、小売店、カジノなどを中心とする、ギャラクシー・マカオの第3および第4フェーズ開発事業を継続して進めています。今年8月には、第3フェーズの一部である、ギャラクシー・インターナショナル・コンベンション・センター (GICC) とギャラクシー・アリーナを正式に MICE 業界関係者に向けて発表しました。また、ハイアットホテルズのアンダーズホテルが、マカオに初進出し、ギャラクシー・リゾートに開業することを嬉しく思っています。

横琴島

ギャラクシー・マカオを補完する、横琴島のライフスタイルリゾートの構想計画を引き続き進めています。

国際事業展開

日本を拠点とするチームは日本での開発活動を継続中です。日本は、長期的に見て大きな成長機会があり、当社のマカオおよびその他の国際的な事業計画を補完することになるでしょう。GEG は、モナコ公国のモンテカル SBM および日本のパートナーと共に日本で当社のワールドクラスの IR を展開することを楽しみにしています。日本開発チームのさらなる強化を継続し、リソースの確立行い、統合型リゾートの選考プロセスに向けて準備を行っています。

2019 年の主な受賞

受賞	主催者
GEG	
<ul style="list-style-type: none"> 香港で最も優れた企業 - 総合部門 香港で最も優れた企業 - カジノ・ゲーミング部門 	アジアマネー
<ul style="list-style-type: none"> ゲーミングおよび宿泊業界で最も名誉ある企業 ベスト IR 企業 (グループ総合) - 第1位 ベスト ESG/SRI - 第1位 ベスト・コーポレート・ガバナンス - 第1位 	インスティテューショナル・インベスター誌 - Asia Executive Team 調査 (2019 年版)
<ul style="list-style-type: none"> ゲーミング・オペレーター・オブ・ザ・イヤー 	第12回インターナショナル・ゲーミング・アワード
<ul style="list-style-type: none"> 3年連続 IR の賞を受賞した企業 エクセレンス認証 	香港インベスター・リレーションズ・アソシエーション
ギャラクシー・マカオ	
<ul style="list-style-type: none"> 統合型リゾート・オブ・ザ・イヤー 	第12回インターナショナル・ゲーミング・アワード



<ul style="list-style-type: none"> • ベスト統合型リゾート賞 • ベスト・ゲーミング・フロア賞 	G2E アジア・アワード 2019
5つ星ホテル <ul style="list-style-type: none"> • バンヤンツリー・マカオ • ザ・リッツ・カールトン・マカオ 	フォーブス・トラベルガイド 2019
マカオのベスト・ファインダイニング・レストラン <ul style="list-style-type: none"> • フック・ラム・ムーン (ギャラクシー・マカオ) • テラツア・イタリアン・レストラン (ギャラクシー・マカオ) 	ザ・メニュー2018

スターワールド・マカオ	
アジアのケータリングサービス・ベストホテル最優秀賞	第19回中国ホテル・ゴールデンホース・アワード
ブロードウェイ・マカオ	
第14回労働衛生賞 - 環境パフォーマンス・シルバー・アワード	マカオ環境保護局
建設資材部門	
第14回労働衛生賞 - ジョイフル@ヘルシーワークスペース・ベストプラクティス賞 - 優秀賞	香港労働安全衛生協議会
ケアリング・カンパニー・スキーム - 「15年以上にわたるケアリング・カンパニー」ロゴ	香港社会貢献議会
香港アワード (優秀環境部門)	香港環境保護運動委員会
環境分野におけるコーポレート・リーダーシップ・アワード 2018 - エコパートナー	香港工業総会/中国銀行 (香港)
2018-19 航空安全認証スキーム- 航空安全において最も貢献・成果をあげた企業	香港航空当局

展望

2019年第4四半期には、新たなインフラの運用開始や入国管理施設が開局し、中国本土からマカオへのアクセスやマカオ内での移動手段の改善により、マカオのさらなる発展につながると予想しています。短期的視点では、当社は、現在の国際的な貿易摩擦や世界経済の低迷がお客様の心理や消費行動に影響を与える可能性があることを十分に認識しております。しかし、アジア全土におけるレジャーや観光、旅行の需要が伸び続けていることから、マカオの中長期的展望には依然として自信を持っております。

当社は、マカオ全体でこの成長を十分に望める立場にあると考えています。GEGは、世界最高品質のリゾートと開発パイプラインを持っています。

当社は、施設拡張プログラムを通して、ギャラクシー・マカオとスターワールド・マカオの改良を継続します。GEGは、ギャラクシー・マカオの第3および第4フェーズの、将来的な成長にむけて投資を行



える独特な立場にあります。一方では横琴島、および日本市場も優先的に携わっています。2019年の残りの期間や2020年を通して、グループは事業の効率性を向上させ、とりわけ現在の市場状況にあわせた堅実なコスト管理を行うことで、当社事業の全セグメントを継続的に推進させていく所存です。さらに、「観光とレジャーの国際的な中心地」になるというマカオ政府の構想を支援するために、継続的なトレーニングやスキルアップによるチームメンバーの育成を行います。

ギャラクシー・エンターテインメント・グループ (GEG) について

ギャラクシー・エンターテインメント・グループは、世界有数のリゾート、ホスピタリティおよびゲーミング企業です。当グループは、マカオで統合型リゾート、リテール、飲食、ホテル、ゲーミング施設などの開発・運営を幅広く行っています。香港証券取引所に上場しており、ハンセン指数の構成銘柄であり、日経アジア300指数にも選出されています。

GEGは、マカオで最初にゲーミングライセンスを取得した3社のうちの1つであり、革新的で壮かつ、数々の賞を受賞した施設、プロダクト、サービスを提供しています。「ワールドクラス、アジアのおもてなし」をサービス哲学の基本としており、マカオ市場で好業績をおさめています。

GEGは、マカオで3つの旗艦リゾートを展開しています。コタイ地区にあるギャラクシー・マカオ™は世界最大級の統合型リゾートで、隣接するブロードウェイ・マカオ™は、ユニークなランドマークであり、エンターテインメントとフードストリートをテーマとしています。マカオ半島にあるスターワールド・マカオは数々の賞を受賞したプレミアムプロパティといえます。

GEGは、マカオにおけるゲーミングライセンスを保有する会社の中では、最大の未開発用地を所有しています。コタイ地区のギャラクシー・マカオは次の開発段階が完成することで、リゾート、エンターテインメント、MICE施設を備え、総面積は200万平方メートル以上へと倍増し、世界最大級で様々な施設を提供する統合型リゾートとなります。また、マカオに隣接する大横琴島（ヘンチン）の270万平方メートルの土地に世界的レベルのレジャー・レクリエーション・リゾート開発を計画しています。同リゾートは、マカオでのGEGのプロジェクトを補完すると同時に、GEGと他との差別化をはかり、観光とレジャーの国際的な中心地にするというビジョンの下でマカオを支援するものとなります。

GEGは、2015年7月には、モナコ公国において象徴的な高級ホテルやリゾートを所有・運営する、世界的に有名な Société Anonyme des Bains de Mer et du Cercle des Etrangers à Monaco（モンテカルロSBM）と提携し戦略的な投資を行っています。さらに、日本を含む国際プロジェクトの開発機会を引き続き探求しています。GEGは、お客様に世界レベルかつユニークな体験を提供し、事業を行なっている地域社会への持続可能な未来を築くことに全力を尽くしております。

グループに関する詳しい情報については、<https://www.galaxyentertainment.co.jp>をご覧ください。

報道関係者 問い合わせ先

ギャラクシーエンターテインメントジャパン
担当：高木あゆみ
Tel: 03-3588-8080
E-mail: ayumi.takagi@galaxyentertainment.co.jp

ゴリン・ジャパン
担当：大坂・石井
Tel: 080-2015-0073/080-4832-0800
E-mail: Aosaka@golin.com /sishii@golin.com